



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 三菱倉庫株式会社
コード番号 9301 URL <https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 秀親
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西田 太郎
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3278-6611

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	192,452	△17.0	15,780	△12.9	21,204	△15.9	24,596	14.0
2023年3月期第3四半期	231,987	25.7	18,115	39.2	25,224	46.2	21,580	82.4

(注) 包括利益 : 2024年3月期第3四半期 44,766百万円(121.9%) 2023年3月期第3四半期 20,171百万円(3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	316.61	—
2023年3月期第3四半期	269.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	634,439	387,479	60.0
2023年3月期	573,689	354,432	61.1

(参考) 自己資本 : 2024年3月期第3四半期 380,901百万円 2023年3月期 350,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	41.00	—	49.00	90.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△10.2	19,500	△15.3	25,500	△15.1	27,500	1.0	357.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	81,960,739株	2023年3月期	81,960,739株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,418,500株	2023年3月期	3,814,831株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	77,689,077株	2023年3月期3Q	80,044,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、引き続き消費者物価の上昇による家計への影響が懸念され、設備投資など一部に足踏みもみられるものの、個人消費が持ち直し、生産にも持ち直しの兆しがみられ、景気は緩やかに回復しています。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界においては、世界的な景気の足踏みにより貨物量が減少し、海上運賃単価が前期水準を下回ったほか、人手不足等によるコストの増加が続き、また、不動産業界においては、需給の緩みにより賃貸オフィスビルの空室率は高止まりしています。

このような状況の下、当社グループは、経営計画[2022-2024]に沿ってDX等新手法も活用した営業活動を推進し、物流事業では、医薬品・自動車関連等の配送センター業務等の拡大に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト上昇に見合う適正料金の收受やコスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、物流事業で海上運賃単価の下落や貨物取扱量の減少に伴い国際運送取扱事業を中心に収入が減少したため、不動産事業で収入が増加したものの、全体として前年同期比395億3千5百万円（17.0%）減の1,924億5千2百万円となりました。また営業原価は、物流事業で減少したため、不動産で増加したものの、全体として前年同期比383億5千1百万円（18.7%）減の1,670億3千6百万円となり、販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により、同11億5千1百万円（13.6%）増の96億3千5百万円となりました。

営業利益は、物流事業で減益となったため、不動産事業で増益となったものの、全体として前年同期比23億3千4百万円（12.9%）減の157億8千万円となり、経常利益は、受取配当金の減少や持分法による投資利益の減少により、同40億1千9百万円（15.9%）減の212億4百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益で、固定資産処分益が減少したものの、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益が増加したため、前年同期比30億1千5百万円（14.0%）増の245億9千6百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
物流事業				
（倉庫事業）	47,942	50,051	2,109	4.4
（陸上運送事業）	39,346	39,033	△313	△0.8
（港湾運送事業）	17,708	18,157	449	2.5
（国際運送取扱事業）	94,373	50,037	△44,335	△47.0
（その他）	6,642	6,178	△463	△7.0
計	206,012	163,458	△42,553	△20.7
不動産事業				
（不動産賃貸事業）	22,814	23,425	611	2.7
（その他）	4,282	6,753	2,471	57.7
計	27,096	30,179	3,082	11.4
内部取引消去	△1,122	△1,185	△63	—
合計	231,987	192,452	△39,535	△17.0

① 物流事業

- ・倉庫事業は、自動車関連貨物、食品の取扱増加等により、営業収益は前年同期比4.4%増
- ・陸上運送事業は、貨物取扱減少により、同0.8%減
- ・港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱増加等により、同2.5%増
- ・国際運送取扱事業は、海上運賃単価の下落や貨物取扱量の減少に伴い、同47.0%減

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比425億5千3百万円（20.7%）減の1,634億5千8百万円となりました。また営業費用は、作業運送委託費が減少したため、前年同期比394億6千万円（20.7%）減の1,516億2千2百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比30億9千3百万円（20.7%）減の118億3千6百万円となりました。

② 不動産事業

- ・不動産賃貸事業は、稼働率の上昇により、営業収益は前年同期比2.7%増
- ・その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の増加により、同57.7%増

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比30億8千2百万円（11.4%）増の301億7千9百万円となりました。また営業費用は、不動産販売原価等が増加したため、前年同期比16億8千5百万円（8.6%）増の213億1千7百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比13億9千7百万円（18.7%）増の88億6千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 第3四半期連結会計期間の資産・負債・純資産の状況

総資産は、米国のCavalier Logistics Management II, Inc.、Cavalier International Air Freight, Inc.、DC Dyna, Inc.、及び英国のCavalier Logistics U.K. Limitedの4社（以下「Cavalier Logisticsグループ」という。）の株式を取得し、連結子会社としたことにより「のれん」等が増加したほか、株式相場の上昇に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比607億5千万円増の6,344億3千9百万円となりました。

負債合計は、新規借入に伴い「借入金」が増加したほか、株式相場の上昇に伴い「繰延税金負債」が増加したため、前期末比277億3百万円増の2,469億5千9百万円となりました。

純資産は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上に伴い「利益剰余金」が増加したほか、株式相場の上昇に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比330億4千7百万円増の3,874億7千9百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を1.1ポイント下回る60.0%となりました。

② 第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却による資金留保等により、250億1千8百万円の増加（前年同期は267億3千8百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得（Cavalier Logistics グループ株式取得）による支出、固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出等により、299億1千6百万円の減少（前年同期は235億6千5百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金が増加したものの、自己株式の取得による支出、配当金の支払等により、35億7千万円の減少（前年同期は59億1千3百万円の減少）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（11億3百万円の増加）を加えた全体で73億6千5百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は549億3千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の連結業績は概ね2023年10月31日公表の第2四半期経過時修正予想に沿って進捗しているため、通期の連結業績予想については、2023年10月31日公表の予想数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,004	55,218
受取手形及び営業未収金	44,435	48,295
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	8,041	6,627
その他	7,894	8,816
貸倒引当金	△43	△43
流動資産合計	124,331	120,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	134,448	130,506
機械装置及び運搬具（純額）	4,996	4,896
土地	129,576	130,924
建設仮勘定	4,959	11,672
その他（純額）	7,971	12,234
有形固定資産合計	281,952	290,234
無形固定資産		
借地権	7,722	7,722
のれん	—	21,977
その他	4,877	4,726
無形固定資産合計	12,599	34,426
投資その他の資産		
投資有価証券	144,282	176,109
長期貸付金	172	168
繰延税金資産	2,956	3,287
その他	7,454	9,357
貸倒引当金	△39	△38
投資損失引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	154,806	188,864
固定資産合計	449,357	513,525
資産合計	573,689	634,439

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	24,844	22,543
短期借入金	40,313	52,340
1年内償還予定の社債	5,000	13,000
未払法人税等	6,931	6,644
その他	13,307	17,806
流動負債合計	90,396	112,334
固定負債		
社債	36,000	28,000
長期借入金	23,970	24,032
長期預り金	22,647	24,462
繰延税金負債	36,352	43,729
役員退職慰労引当金	66	46
退職給付に係る負債	8,414	8,433
その他	1,408	5,921
固定負債合計	128,859	134,625
負債合計	219,256	246,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,059	19,068
利益剰余金	252,759	269,648
自己株式	△12,289	△18,804
株主資本合計	281,923	292,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,749	80,821
為替換算調整勘定	4,235	7,919
退職給付に係る調整累計額	△111	△146
その他の包括利益累計額合計	68,873	88,594
非支配株主持分	3,635	6,578
純資産合計	354,432	387,479
負債純資産合計	573,689	634,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	22,424	24,228
倉庫荷役料	15,921	16,017
陸上運送料	39,345	39,032
港湾荷役料	13,613	14,110
国際運送取扱料	94,109	49,941
不動産賃貸料	25,201	25,713
その他	21,370	23,408
営業収益合計	231,987	192,452
営業原価		
作業運送委託費	120,957	79,492
人件費	31,372	32,217
施設賃借費	8,025	8,285
減価償却費	11,464	11,355
その他	33,567	35,685
営業原価合計	205,387	167,036
営業総利益	26,599	25,415
販売費及び一般管理費	8,484	9,635
営業利益	18,115	15,780
営業外収益		
受取利息	239	229
受取配当金	5,255	4,341
持分法による投資利益	1,155	696
その他	1,030	669
営業外収益合計	7,680	5,935
営業外費用		
支払利息	392	435
その他	178	76
営業外費用合計	571	511
経常利益	25,224	21,204
特別利益		
固定資産処分益	2,134	103
投資有価証券売却益	3,059	13,915
施設解約補償金	281	57
受取補償金	—	107
特別利益合計	5,475	14,184
特別損失		
固定資産処分損	250	253
投資有価証券売却損	13	10
投資有価証券評価損	19	67
特別損失合計	282	332
税金等調整前四半期純利益	30,417	35,057
法人税等	8,383	10,158
四半期純利益	22,033	24,899
非支配株主に帰属する四半期純利益	452	302
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,580	24,596

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	22,033	24,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,979	16,013
為替換算調整勘定	3,778	2,674
退職給付に係る調整額	△265	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	605	1,210
その他の包括利益合計	△1,861	19,867
四半期包括利益	20,171	44,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,569	44,317
非支配株主に係る四半期包括利益	602	448

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,417	35,057
減価償却費	11,800	11,666
引当金の増減額 (△は減少)	18	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	378	5
受取利息及び受取配当金	△5,494	△4,570
支払利息	392	435
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,046	△13,904
投資有価証券評価損益 (△は益)	19	67
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,288	△179
販売用不動産の増減額 (△は増加)	238	1,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	43	△4,128
預り金の増減額 (△は減少)	1,523	3,590
その他	△3,128	426
小計	28,875	29,876
利息及び配当金の受取額	6,333	5,554
利息の支払額	△418	△459
法人税等の支払額	△8,052	△9,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,738	25,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△18,430	△14,697
固定資産の売却による収入	1,177	128
投資有価証券の取得による支出	△9,528	△9,015
投資有価証券の売却による収入	4,510	14,378
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,251
その他	△1,294	△459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,565	△29,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額 (△は減少)	10,471	11,936
自己株式の取得による支出	△8,576	△6,631
配当金の支払額	△6,596	△7,710
その他	△1,212	△1,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,913	△3,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,277	1,103
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,463	△7,365
現金及び現金同等物の期首残高	52,505	62,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,042	54,931

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月31日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において普通株式1,633,800株、6,613百万円の自己株式を取得しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Cavalier Logistics Management II, Inc. Cavalier International Air Freight, Inc. DC Dyna, Inc. Cavalier Logistics U.K. Limited
事業の内容	管理業務、物流業務

(2) 企業結合を行った主な理由

Cavalier Logisticsグループは、米国及び英国内で主にバイオ医薬品、ヘルスケア等一般企業向け並びに米国政府機関向けのロジスティクスソリューションに特化した高度なサプライチェーンを構築し、近年業績を伸ばしている物流企業であり、当社は長年米国拠点におけるパートナーとして良好な関係を築いてきました。

また、当社は長期ビジョンである「MLC2030ビジョン」の戦略に則り、米国・欧州における医療・ヘルスケア物流の事業拡大を図ることとしており、Cavalier Logisticsグループを傘下に収めて基盤を構築することで、日米欧一体で営業を行う体制を築くことができます。

米国では最先端の研究や治療が多数行われており、グローバルな医薬品市場に比べ、今後も高い成長を続けるものと見込まれています。その様な市場において当社グループは、お客様に高品質なロジスティクスサービスを提供することで、様々な社会課題の解決に貢献し、医療・ヘルスケア物流の事業拡大を図ります。

(3) 企業結合日

2023年10月2日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得及び現物出資による株式の取得

(5) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

当社が議決権比率90%を有するProject Hermes Holding Company（以下「Holding Company」という。）を通じて、100%の議決権を取得しております。

(7) 取得企業を決定するに至った根拠

Holding Companyが現金を対価としてCavalier Logisticsグループの発行済株式総数の90%相当を取得し、Holding Companyの10%相当の新株を対価として残る10%相当に係るCavalier Logisticsグループ株式の現物出資を受けたことで、Cavalier Logisticsグループの発行済株式のすべてを取得したため。

2 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2023年10月1日としており、かつ当該4社の決算日と連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第3四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	21,675百万円
取得の対価	現物出資により企業結合日に取得した株式の時価	2,542百万円
取得原価		24,218百万円

なお、取得の対価の一部が未確定であるため、暫定的な金額であります。

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び期間

① 発生したのれん金額

21,977百万円

なお、のれん金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
倉庫保管料	22,424	—	22,424	—	22,424
倉庫荷役料	15,921	—	15,921	—	15,921
陸上運送料	39,345	—	39,345	—	39,345
港湾荷役料	13,613	—	13,613	—	13,613
国際運送取扱料	94,109	—	94,109	—	94,109
不動産賃貸料	182	6,104	6,287	—	6,287
その他	17,303	4,036	21,340	—	21,340
顧客との契約から生じる 収益	202,901	10,141	213,043	—	213,043
その他の収益(注) 3	2,586	16,357	18,944	—	18,944
外部顧客に対する営業収益	205,487	26,499	231,987	—	231,987
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	525	597	1,122	△1,122	—
計	206,012	27,096	233,109	△1,122	231,987
セグメント利益	14,929	7,464	22,394	△4,279	18,115

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,279百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,281百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等である。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
倉庫保管料	24,228	—	24,228	—	24,228
倉庫荷役料	16,017	—	16,017	—	16,017
陸上運送料	39,032	—	39,032	—	39,032
港湾荷役料	14,110	—	14,110	—	14,110
国際運送取扱料	49,941	—	49,941	—	49,941
不動産賃貸料	167	5,731	5,898	—	5,898
その他	16,892	6,509	23,402	—	23,402
顧客との契約から生じる 収益	160,390	12,240	172,630	—	172,630
その他の収益(注) 3	2,481	17,339	19,821	—	19,821
外部顧客に対する営業収益	162,872	29,580	192,452	—	192,452
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	586	599	1,185	△1,185	—
計	163,458	30,179	193,638	△1,185	192,452
セグメント利益	11,836	8,861	20,698	△4,918	15,780

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,918百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,922百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等である。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

Cavalier Logisticsグループの株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

当該事象によるのれんの増加額は、「物流事業」セグメントにおいて、21,977百万円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。